

令和7年（2025年）度行政評価シート【個表】

令和 7 年 6 月 13 日

評価対象事業		評価者	監査委員事務局長 谷川 宏	
監査-01	監査事務	☒ 自治事務	主管課	監査委員事務局
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	0-(2) 行財政運営	施策の方針	0-(2) 行財政運営

1 事業の目的

対象	各部各課等
意図	市の行政の適法性、効率性、妥当性の保障を期するため。
効果	正確性、合規性、経済性、効率性及び有効性の観点から監査を実施し、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営が行われるようにする。

2 令和6年(2024年)度実施した事業の概要

令和6年度監査等年間計画に基づき、財務事務監査、行政監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算等審査、健全化判断比率等審査及び住民監査請求による監査を実施した。	
---	--

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝 番 号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度	令和7年度	達成度	
				指標(実績値／目標値)			指標(目標値)
				事業費(決算／当初)(千円)			予算額(千円)
01	各種監査事務(財務監査、行政監査、財政援助団体等監査、住民監査請求の審査等)	監査委員報酬、神奈川県都市監査委員会負担金 等		- / -	-		
				3,371 / 3,626	3,626		
02	各種検査事務(例月出納検査)			/			
	/						
03	各種審査(決算等審査等)			/			
				/			
		財源 内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	/			
			一般財源	3,371 / 3,626	3,626		
			事業費の合計 (千円)		3,371 / 3,626		3,626
		人件費 (千円)		39,325	42,685		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	6	6	6	7	5	5
会計年度任用職員	0	0	0	0	0	0

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、 目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、 構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	各種監査事務(財務監査、行政監査、財政援助団体等監査、住民監査請求の審査等)	監査等年間計画に基づき、市の行政適法性、効率性、妥当性の保障を期するとともに、公正で合理的かつ能率的な市の行政運営を確保するため、違法、不正の指摘にとどまらず、勧告や指導に重点を置いて各種監査等を着実に実施した。数値化には馴染まない事業であるため、指標の設定はしていない。	-	-
02	各種検査事務(例月出納検査)		-	-
03	各種審査(決算等審査等)		-	-

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない	
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	3 外部化ができる事業はない	
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない	
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない	
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている	
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない	
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
・監査委員がその権限に基づき職務を執行するにあたり合理的な基礎を得て判断できるよう、実地調査及び書類調査等の実務を担う。 ・監査における専門的知識や監査技術の向上、行政運営上の新たな課題にも対応できるスキルが必要であるため、その習得及び強化に努めていく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	定期監査実施部数等						単位	箇所
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
定期監査を計画的に実施することによって、各職場に法令順守や適正な事務執行を促すため。	目標値	10	8	10	8	10	9	
	実績値	10	8	10	8	10		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

指標(単位)	監査委員・事務局職員の研修への参加回数						単位	回
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
多様な監査事務等の適正な執行と精度向上を図るため、専門性を高める必要があるため。	目標値	-	12.0	12.0	12.0	12.0	12.0	
	実績値	13.0	17.0	25.0	23.0	30.0		
	達成率	-	-	-	-	-		

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	職員1人当たりの人口(小数点以下第1位四捨五入)(中段:人口、下段:職員数、単位:人)							
団体名	鎌倉市	藤沢市	横須賀市	茅ヶ崎市	小田原市	平塚市	南足柄市	逗子市
他市実績	34,007	49,276	40,855	34,996	30,882	28,646	13,007	11,027
	170,034	443,488	367,698	244,975	185,293	257,818	39,022	55,136
	5	9	9	7	6	9	3	5

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	・令和7年4月1日現在 ・監査事務の共同研究、資料の交換等により監査の発展を目的として湘南都市9市で構成する湘南都市監査事務研究協議会の各都市を他市比較として設定している(表記載の他に三浦市・9,785人、人口39,141人、事務局職員4人)。 ・最小の経費で最大の効果を目指す。
--------------------------	--